

＜室蘭＞2・11「平和をねがう文化のつどい」 Peace Jamboree

ゲストは「多喜二(いしぶみ)の前で」

今回が7年目となるこの「文化のつどい」は、例年7月に開かれている「平和のための戦争写真展」と並ぶ、市民参加の「平和のつどい」として定着してきました。また、やはり結成7年目となる「平和憲法を守る市民ネット」が開く年2回の大きな市民向けイベントも加わり、室蘭では市民参加の平和を希求する活動が盛んです。

さて今回、ステージ発表のゲストとしてお呼びしたのは、合唱構成劇「多喜二(いしぶみ)の前で」(脚本・演出：金田一仁志)。「蟹工船」を元にしたミュージカルで、舞台は、熱気にあふれる演技を、コーラス・ラインに並ぶ札幌と地元のうたごえサークルのハーモニーがしっかりと支え、きびしい状況に耐えて、それを乗り越えて行く若者たちの姿に、観客の多くが涙していました。

展示部門は今回も多彩となり、130人の方から160点もの作品が出品され、それらの割付が大変でした。絵画、書、彫刻と言った古典的な美術作品はもとより、古布から小物などを作る手芸作品から、着物をリフォームしたワンピースまであり、観ていて楽しいものばかりで、今年は手作り玩具コーナーが登場して、親子連れを楽しませました。

開会の挨拶に次いで「今日は何の日」というお話をするのが私の務めで、今回は小林多喜二のことから、「治安維持法」と「特攻警察」、多喜二が築地警察署で死に至る拷問を受けたのは78年前の1933年2月20日であったことを話しました。

ことしも観客数は、午前の部(11:00～12:20)と午後の部(13:30～15:00)を合わせて400人を越えました。午前と午後の部の間に昼食休憩(12:20～13:30)があり、軽食コーナーで食事ができます。展示は午前10時から午後3時半まで開き無料です。

参加協力券は、大人1000円、学生500円 子ども無料。会場は室蘭市輪西町室蘭市市民会館